

<講習の例>

シラバス

回	内容	学習要項
1	小児の発達 小児看護	小児は新生児期から思春期までと年齢層が幅広い。正常な子どもの発達段階をとらえ、小児看護の基本について学ぶ。
2	重症心身障がい児とは 観察のポイント	重症心身障がい児の特徴を学び、観察のポイントについておさえる。同時に正常から逸脱している特徴を子どもの正常と理解できる視点を養う。
3	子どもの権利 倫理	子どもの権利について学ぶ。学習者のもつ倫理観をもとに障がい児のケアを実施する看護者の倫理観を養う。
4	重症心身障がい児のケア フィジカルアセスメント	重症心身障がい児の基礎的疾患と現象より、関連図を作成しアセスメントを行う。 看護過程の展開のプロセスを踏まえケア計画の立案を行う。 ケアの方法について実技を実施
5	家族支援 家族へのかかわり	家族看護の視点より、重症な子どものいる家族を理論的に考える。 家族の発達段階をとらえ家族役割構造モデルを用いて家族について学び、家族への支援方法を学ぶ。
6	事例展開	学習者が提供する事例を用いて、子どもの看護過程および家族看護を展開する。